

## 政策 29 「条件不利地域の振興と都市と農山漁村との交流の推進」

政策 29 「条件不利地域の振興と都市と農山漁村との交流の推進」は、豊かな自然環境や伝統文化が継承されている農山漁村の特長を活かし、地域資源の広域的な活用を進め、自立できる地域づくりを目指す様々な施策で構成されている。

### 1. 政策 29 の認知度

#### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 24.0%、低認知度群は 76.1%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（24.4%）が女性（22.8%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（36.2%）が 65 歳未満（19.2%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

栗原圏域（30.3%）では、回答者全体と比較して 6.3 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（16.9%）では 7.1 ポイント、仙台圏域（17.1%）では 6.9 ポイント低い。

(%)

政策 29 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.8	22.2	24.0	58.4	17.7	76.1	100.0

性別	男性	2.0	22.4	24.4	60.0	15.6	75.6	100.0
	女性	1.6	21.2	22.8	57.4	19.8	77.2	100.0
年齢別	65 歳未満	1.2	18.0	19.2	61.2	19.6	80.8	100.0
	65 歳以上	3.5	32.7	36.2	51.1	12.6	63.7	100.0

圏域別	仙台	0.5	16.6	17.1	60.7	22.3	83.0	100.0
	仙南	3.0	17.7	20.7	57.3	22.0	79.3	100.0
	大崎	0.9	26.4	27.3	57.7	15.0	72.7	100.0
	栗原	3.5	26.8	30.3	54.9	14.8	69.7	100.0
	登米	1.9	23.6	25.5	55.7	18.9	74.6	100.0
	石巻	1.1	15.8	16.9	64.7	18.5	83.2	100.0
	気山沼・本吉	1.3	25.0	26.3	58.8	14.9	73.7	100.0

有効回答者数 1,589 名

## 1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 34.8%、低認知度群は 65.1%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（71.4%）では 36.6 ポイント、登米圏域（63.6%）では 28.8 ポイント、石巻圏域（50.0%）と気仙沼・本吉圏域（50.0%）では 12.2 ポイント高い。

仙台圏域（23.1%）では、回答者全体と比較して 11.7 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 41.2%、低認知度群は 58.8%である。

(%)

政策 29 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.9	30.9	34.8	51.5	13.6	65.1	100.0	
圏 域 別	仙台	1.7	23.1	59.0	17.9	76.9	100.0	
	仙南	7.1	33.9	51.8	14.3	66.1	100.0	
	大崎	2.6	35.9	53.8	10.3	64.1	100.0	
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	9.1	54.5	63.6	36.4	0.0	36.4	100.0
	石巻	13.6	36.4	50.0	31.8	18.2	50.0	100.0
	気仙沼・本吉	2.9	47.1	50.0	38.2	11.8	50.0	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	10.3	30.9	41.2	55.9	2.9	58.8	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 68 名

## 2. 政策 29 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 65.0%、低関心度群は 35.1%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（68.1%）が女性（62.0%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（74.6%）が 65 歳未満（61.5%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（73.1%）では 8.1 ポイント、栗原圏域（70.6%）では 5.6 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（59.3%）では 5.7 ポイント、仙台圏域（59.4%）では 5.6 ポイント低い。

(%)

政策 29 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	16.0	49.0	65.0	29.5	5.6	35.1	100.0

性別	男性	17.8	50.3	68.1	27.5	4.4	31.9	100.0
	女性	13.9	48.1	62.0	31.4	6.6	38.0	100.0
年齢別	65 歳未満	12.9	48.6	61.5	32.7	5.8	38.5	100.0
	65 歳以上	24.2	50.4	74.6	20.5	4.9	25.4	100.0

圏域別	仙台	10.8	48.6	59.4	37.7	2.8	40.5	100.0
	仙南	16.7	46.8	63.5	28.8	7.7	36.5	100.0
	大崎	17.2	46.1	63.3	30.6	6.0	36.6	100.0
	栗原	20.2	50.4	70.6	24.8	4.6	29.4	100.0
	登米	15.0	46.3	61.3	32.7	6.1	38.8	100.0
	石巻	7.1	52.2	59.3	34.8	6.0	40.8	100.0
	気仙沼・本吉	20.6	52.5	73.1	21.4	5.5	26.9	100.0

有効回答者数 1,617 名

## 1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 68.8%、低関心度群は 31.2%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)では 31.2 ポイント、登米圏域(90.9%)  
では 22.1 ポイント、気仙沼・本吉圏域(82.9%)では 14.1 ポイント、大崎圏域(76.9%)  
では 8.1 ポイント、仙南圏域(75.0%)では 6.2 ポイント、石巻圏域(73.9%)では  
5.1 ポイント高い。

仙台圏域(51.7%)では、回答者全体と比較して 17.1 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 79.5%、低関心度群は 20.6%である。

(%)

政策 29 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	13.5	55.3	68.8	27.3	3.9	31.2	100.0	
圏 域 別	仙台	6.8	44.9	51.7	41.5	6.8	48.3	100.0
	仙南	19.6	55.4	75.0	23.2	1.8	25.0	100.0
	大崎	11.5	65.4	76.9	20.5	2.6	23.1	100.0
	栗原	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	36.4	54.5	90.9	9.1	0.0	9.1	100.0
	石巻	21.7	52.2	73.9	17.4	8.7	26.1	100.0
	気仙沼・本吉	20.0	62.9	82.9	17.1	0.0	17.1	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	22.1	57.4	79.5	19.1	1.5	20.6	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 68 名

### 3. 政策 29 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 40.4%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 39.8%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 43.3%と推定できる。

政策 29「条件不利地域の振興と都市と農山漁村との交流の推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	22.7	(77.3)
満足度 60点未満の割合		63.1
要検討領域にある回答者全体の割合		40.4

有効回答者数；重視度 1,591人、満足度 1,573人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策29重視度	政策29満足度
度数	有効	1591	1573
	欠損値	130	148
平均値		68.29	49.52
平均値の標準誤差		.444	.436
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.699	17.296
分散		313.239	299.149
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	19.0	(81.0)
満足度 60点未満の割合		58.8
要検討領域にある回答者全体の割合		39.8

有効回答者数；重視度 332人、満足度 330人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策29重視度	政策29満足度
度数	有効	332	330
	欠損値	6	8
平均値		67.79	51.65
平均値の標準誤差		.958	.873
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.455	15.867
分散		304.676	251.747
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

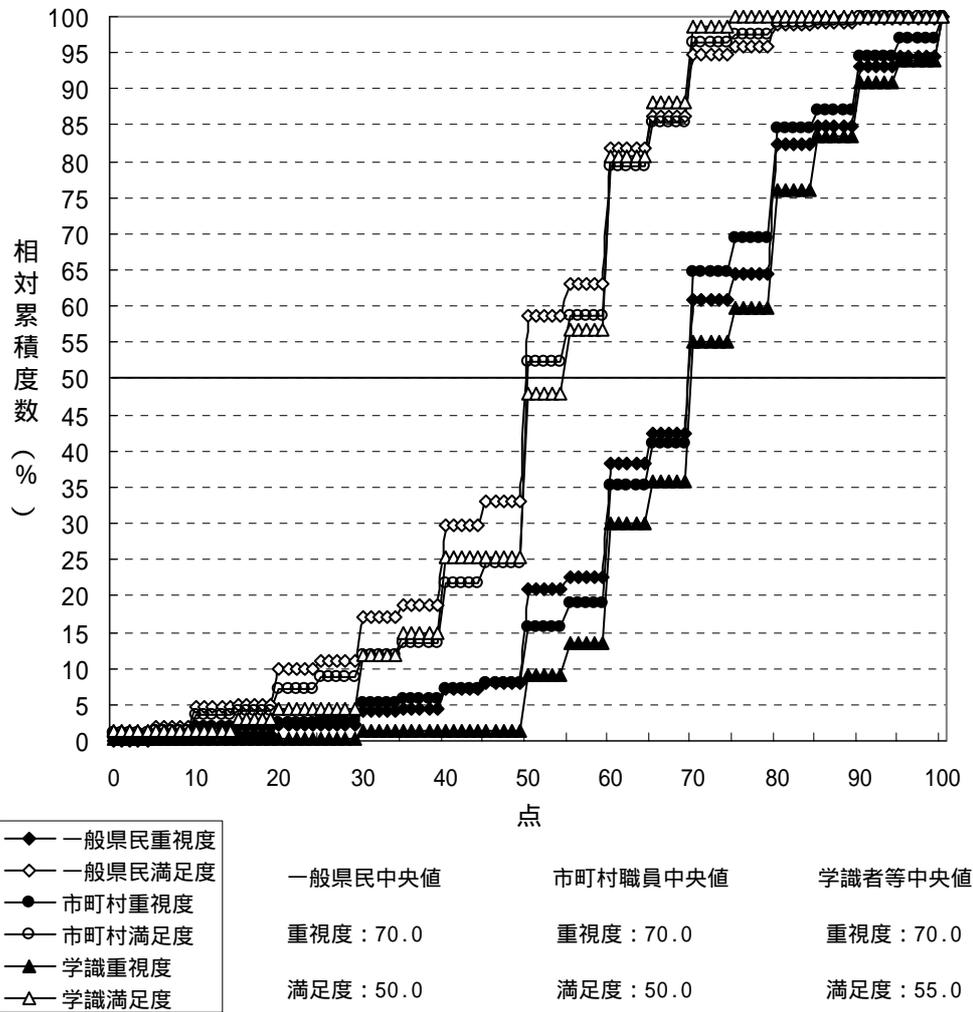
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.4	(86.6)
満足度 60点未満の割合		56.7
要検討領域にある回答者全体の割合		43.3

有効回答者数；重視度 67人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策29重視度	政策29満足度
度数	有効	67	67
	欠損値	2	2
平均値		72.31	51.79
平均値の標準誤差		1.796	1.740
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	60
標準偏差		14.702	14.241
分散		216.158	202.804
範囲		70	70
最小値		30	5
最大値		100	75
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	79.00	60.00
	75	80.00	60.00

「政策29 条件不利地域の振興と都市と農山漁村との交流の推進」



### 3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(10.0 点)が女性(7.5 点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 44.9%、女性 36.1%と推定できる。

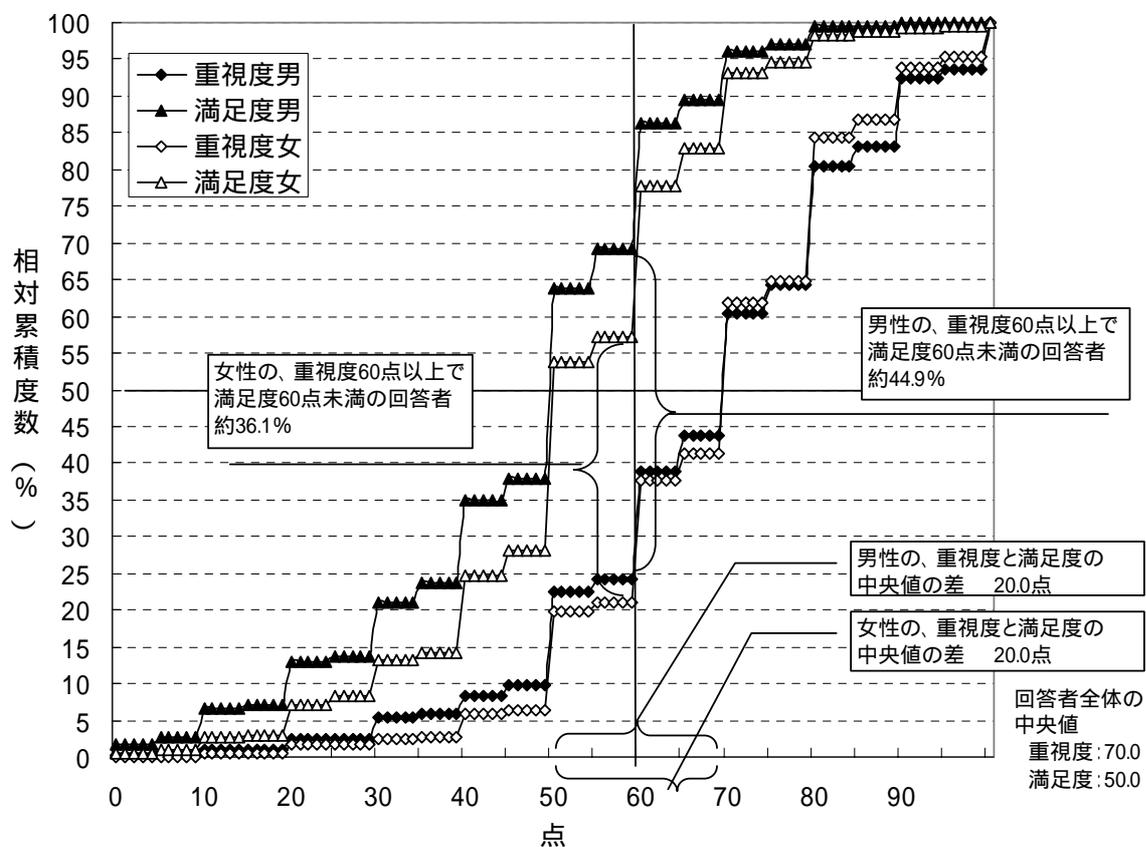
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	7.5

#### 要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	24.3 (75.7)	21.1 (78.9)
満足度 60 点未満の割合	69.2	57.2
要検討領域にある回答者全体の割合	44.9	36.1

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策29重視度	政策29満足度
度数	有効	765	760
	欠損値	38	43
平均値		67.98	46.82
平均値の標準誤差		.679	.644
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.782	17.760
分散		352.755	315.407
範囲		100	95
最小値		0	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策29重視度	政策29満足度
度数	有効	809	797
	欠損値	87	99
平均値		68.57	52.13
平均値の標準誤差		.581	.584
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.525	16.498
分散		273.065	272.199
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

### 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 40.3%、65 歳以上 40.6%と推定できる。

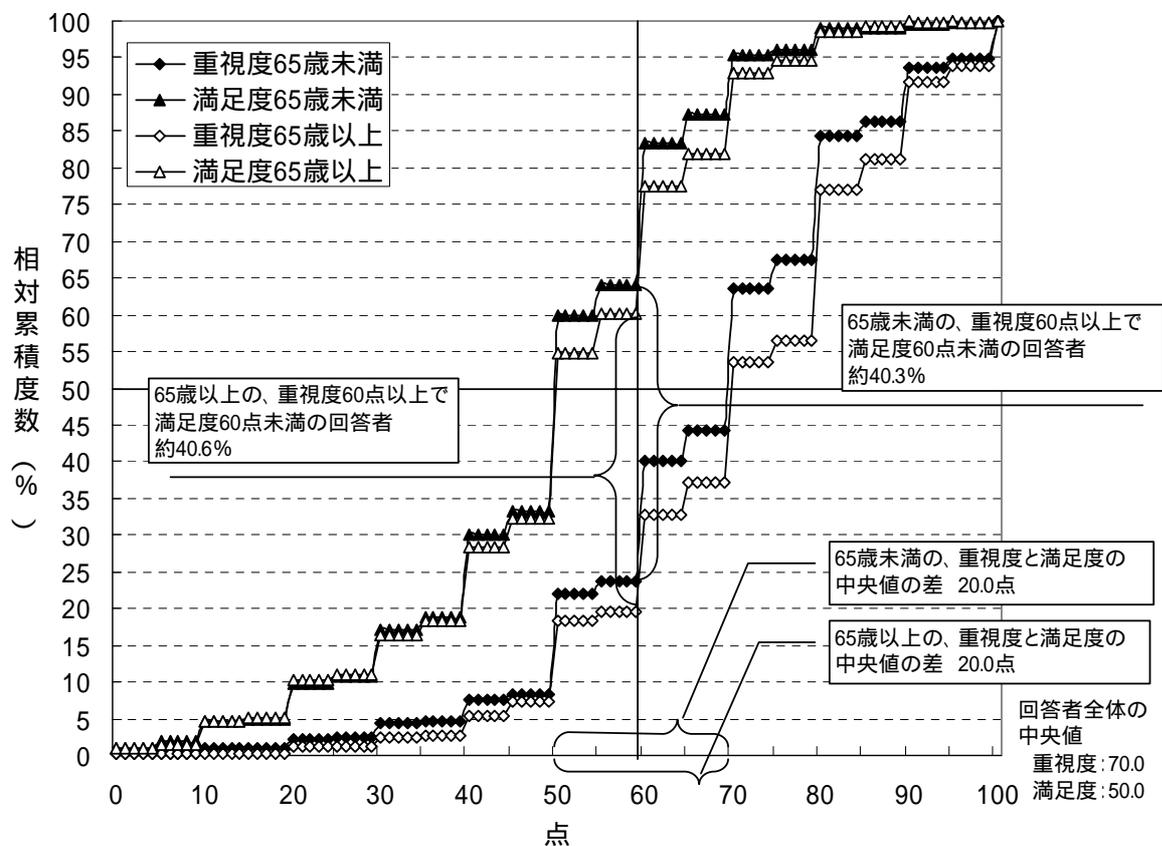
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	23.8 (76.2)	19.6 (80.4)
満足度 60 点未満の割合	64.1	60.2
要検討領域にある回答者全体の割合	40.3	40.6

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



		政策29重視度	政策29満足度
度数	有効	1174	1161
	欠損値	66	79
平均値		67.38	49.19
平均値の標準誤差		.517	.503
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.730	17.130
分散		314.340	293.424
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	51.00
	75	80.00	60.00

		政策29重視度	政策29満足度
度数	有効	398	394
	欠損値	59	63
平均値		70.88	50.58
平均値の標準誤差		.860	.899
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.156	17.843
分散		294.313	318.361
範囲		85	90
最小値		15	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	80.00	60.00

### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 ( 70.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、回答者全体 ( 50.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、登米圏域 ( 15.0 点 ) が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域 ( 7.5 点 ) 、石巻圏域 ( 7.5 点 ) の 2 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域 ( 80.0 点 ) が回答者全体 ( 70.0 点 ) よりも 10 ポイント高く、仙台圏域 ( 65.0 点 ) が 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、栗原圏域 ( 60.0 点 ) が回答者全体 ( 50.0 点 ) よりも 10 ポイント、仙台圏域 ( 55.0 点 ) 、大崎圏域 ( 55.0 点 ) 、登米圏域 ( 55.0 点 ) の 3 圏域が 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域 ( 12.5 点 ) 、登米圏域 ( 12.5 点 ) 、気仙沼・本吉圏域 ( 13.8 点 ) の 3 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きく、仙台圏域 ( 7.5 点 ) が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 ( 15.0 点 ) 、気仙沼・本吉圏域 ( 10.0 点 ) 、栗原圏域 ( 7.5 点 ) 、登米圏域 ( 7.5 点 ) 、大崎圏域 ( 6.9 点 ) の 5 圏域が回答者全体 ( 5.0 点 ) よりも大きい。

政策 29 「条件不利地域の振興と  
都市と農山漁村との交流の推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	50.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0	45.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	10.0	15.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	65.0	70.0	70.0	80.0	70.0	70.0	72.5
	満足度	50.0	55.0	50.0	55.0	60.0	55.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	10.0	20.0	15.0	20.0	15.0	20.0	22.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	55.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	47.5	50.0	50.0	30.0	40.0
	かい離	10.0	5.0	10.0	12.5	10.0	10.0	30.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	70.0	80.0	80.0	85.0	85.0	80.0	87.5
	満足度	60.0	60.0	60.0	61.3	65.0	65.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	10.0	20.0	18.8	20.0	20.0	20.0	27.5
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	7.5	10.0	10.0	12.5	12.5	10.0	13.8
	満足度	5.0	5.0	5.0	6.9	7.5	7.5	15.0	10.0

#### 4. 政策 29 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 3 「過疎地域の振興」( 26.7% ) である。

第 2 位は施策 7 「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」( 23.1% ) である。

第 3 位は施策 1 「農山漁村環境の整備」( 21.0% ) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「農山漁村環境の整備」( 23.0% ) と施策 3 「過疎地域の振興」( 23.0% )  
である( 施策 1 と施策 3 が共に第 1 位になっている )。

第 3 位は施策 7 「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」( 22.4% ) である。

学識者では、

第 1 位は施策 7 「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」( 35.8% ) である。

第 2 位は施策 3 「過疎地域の振興」( 28.4% ) である。

第 3 位は施策 2 「都市と農山漁村の交流促進」( 17.9% ) である。

性別

一般県民では、

性別毎では、第 1 位から第 2 位まで、男性女性とも回答者全体と同じである。

第 3 位は、男性では施策 1 「農山漁村環境の整備」、女性では施策 2 「都市と農山漁村の  
交流促進」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満では施策 3 「過疎地域の振興」、65 歳以上では施策 2 「都市と農山漁  
村の交流促進」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 7 「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」、65 歳  
以上では施策 3 「過疎地域の振興」である。

第 3 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 1 「農山漁村環境の整備」である。

#### 圏域別

一般県民では、

第1位は、仙南、栗原、登米、石巻の45圏域では施策3「過疎地域の振興」、仙台、大崎の2圏域では施策7「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」、気仙沼・本吉圏域では施策1「農山漁村環境の整備」である。

第2位は、仙台、登米、気仙沼・本吉の3圏域では施策2「都市と農山漁村の交流促進」、仙南、栗原、石巻の3圏域では施策7「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」、大崎圏域では施策3「過疎地域の振興」である。

第3位は、仙南、大崎、登米、石巻の4圏域では施策1「農山漁村環境の整備」、仙台、気仙沼・本吉の2圏域では施策3「過疎地域の振興」、栗原圏域では施策2「都市と農山漁村の交流促進」である。

市町村職員では、

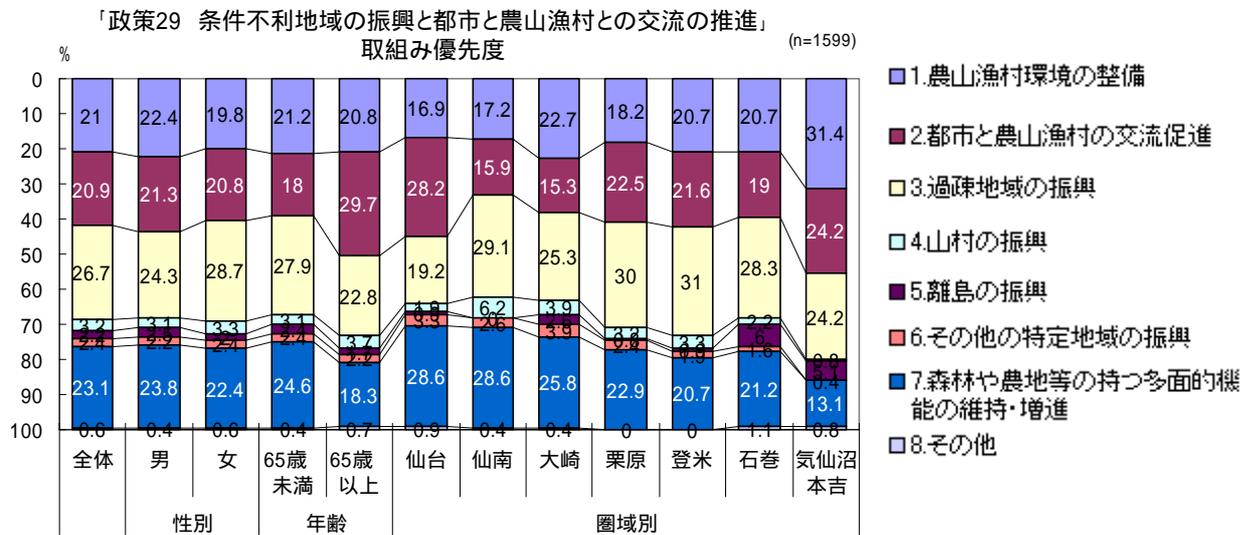
第1位は、仙台、石巻の2圏域では施策1「農山漁村環境の整備」、仙南、登米の2圏域では施策7「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」、大崎、栗原の2圏域では施策3「過疎地域の振興」、登米、気仙沼・本吉の2圏域では施策2「都市と農山漁村の交流促進」である（登米圏域では施策2と施策7が共に第1位になっている）。

第2位は、仙台、大崎、石巻の3圏域では施策7「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」、仙南、石巻の2圏域では施策3「過疎地域の振興」、栗原、気仙沼・本吉の2圏域では施策1「農山漁村環境の整備」である（石巻圏域では施策3と施策7が共に第2位になっている）。

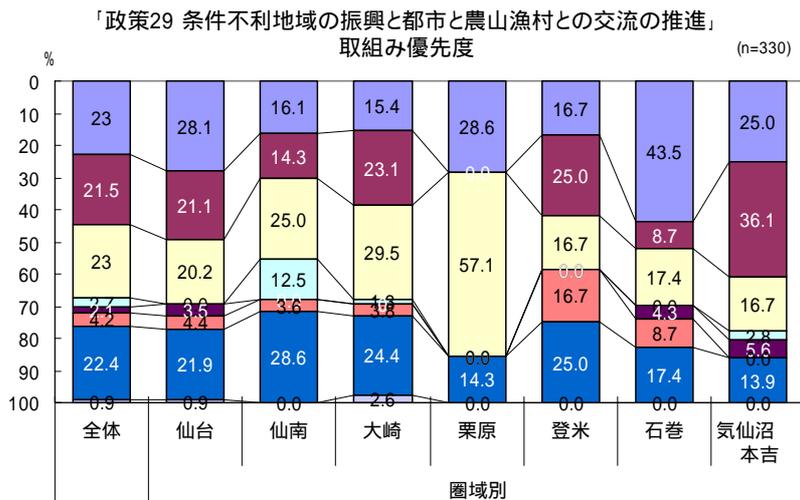
第3位は、仙台、大崎の2圏域では施策2「都市と農山漁村の交流促進」、仙南、登米の2圏域では施策1「農山漁村環境の整備」、登米、気仙沼・本吉の2圏域では施策3「過疎地域の振興」、栗原圏域では施策7「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」である（登米圏域では施策1と施策3が共に第3位である）。

政策 29 「条件不利地域の振興と都市と農山漁村との交流の推進」

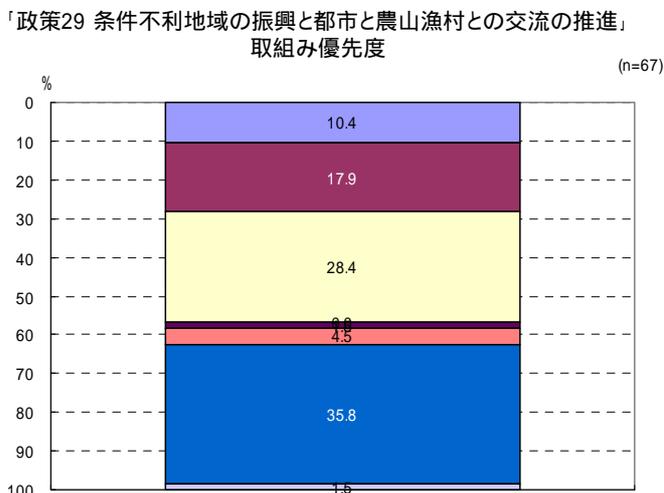
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 29 「条件不利地域の振興と  
都市と農山漁村との交流の推進」

【一般県民】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳 未満	65歳 以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.農山漁村環境の整備	21.0	22.4	19.8	21.2	20.8	16.9	17.2	22.7	18.2	20.7	20.7	31.4
2	2.都市と農山漁村の交流促進	20.9	21.3	20.8	18.0	29.7	28.2	15.9	15.3	22.5	21.6	19.0	24.2
3	3.過疎地域の振興	26.7	24.3	28.7	27.9	22.8	19.2	29.1	25.3	30.0	31.0	28.3	24.2
4	4.山村の振興	3.2	3.1	3.3	3.1	3.7	1.9	6.2	3.9	3.2	3.3	2.2	0.8
5	5.離島の振興	2.2	2.5	2.0	2.4	1.7	0.9	0.0	2.6	0.8	0.9	6.0	5.1
6	6.その他の特定地域の振興	2.4	2.2	2.4	2.4	2.2	3.3	2.6	3.9	2.4	1.9	1.6	0.4
7	7.森林や農地等の持つ多面的機能の 維持・増進	23.1	23.8	22.4	24.6	18.3	28.6	28.6	25.8	22.9	20.7	21.2	13.1
8	8.その他	0.6	0.4	0.6	0.4	0.7	0.9	0.4	0.4	0.0	0.0	1.1	0.8

【市町村職員】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.農山漁村環境の整備	23.0	28.1	16.1	15.4	28.6	16.7	43.5	25.0
2	2.都市と農山漁村の交流促進	21.5	21.1	14.3	23.1	0.0	25.0	8.7	36.1
3	3.過疎地域の振興	23.0	20.2	25.0	29.5	57.1	16.7	17.4	16.7
4	4.山村の振興	2.7	0.0	12.5	1.3	0.0	0.0	0.0	2.8
5	5.離島の振興	2.1	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	5.6
6	6.その他の特定地域の振興	4.2	4.4	3.6	3.8	0.0	16.7	8.7	0.0
7	7.森林や農地等の持つ多面的機能の 維持・増進	22.4	21.9	28.6	24.4	14.3	25.0	17.4	13.9
8	8.その他	0.9	0.9	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体
1	1.農山漁村環境の整備	10.4
2	2.都市と農山漁村の交流促進	17.9
3	3.過疎地域の振興	28.4
4	4.山村の振興	0.0
5	5.離島の振興	1.5
6	6.その他の特定地域の振興	4.5
7	7.森林や農地等の持つ多面的機能の 維持・増進	35.8
8	8.その他	1.5

政策 29 「条件不利地域の振興と  
都市と農山漁村との交流の推進」